

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成 24 年度（平成 24 年 7 月 2 日から平成 25 年 3 月 31 日）
事業報告

1. はじめに

京都ボーイスカウト振興会は公益法人制度改革に伴い、平成 24 年 7 月 2 日付けで、一般財団法人への移行が完了致しました。そのため、平成 24 年 7 月 2 日から平成 25 年 3 月 31 日までの会計期間は、新一般財団法人における最初の事業報告となります。

平成 24 年 7 月 2 日からは、一般財団法人の新体制のもと、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)指導者養成のためのプログラム企画運営事業、(4)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(5)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業を実施しました。

新一般財団法人として、新しく事業の柱として掲げた、指導者養成のためのプログラム企画運営事業では、青少年育成指導者対して、公開セミナーを開催しました。富野暉一郎龍谷大学教授を講師として招き、『京都の将来を担うグローバル人材の育成』（グローバル人材と連帯型社会の再構築）と題してセミナーを実施、約 100 名が参加しました。

また、ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業として、日本ボーイスカウト京都連盟（以下「京都連盟」という。）が行う京都キャンポリーへの助成協力 1,000 千円を含め、合計 2,300 千円の助成金を支出しました。

さらに、当法人が所有する広河原野営場は、前会計期間に実施された広河原野営場の整備（京都西ロータリークラブからのトイレ及びシャワー施設寄贈、馬酔木植樹等）によって、衛生面等の配慮がなされたことによって、14 日間、のべ人数 311 名（前会計期間の山開を除く）の使用実績となりました。

2. 事業の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー・京都キャンポリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

事業費として、2,300 千円を支出した。この内、1,000 千円は、京都キャンポリー開催に伴う事業費に対する助成である。残額の 1,300 千円は、京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名称	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
日程	4/22	6/3	6/24	9/25	10/21	11/11	3/17
会場	中止	中止	宇治市 中央 公民館	本門 仏立宗 本山 宥清寺	西京 区役所 洛西支所	京丹後市 織物セン ター	上一条 集会所

(参考) ウッドバッジ実修所・研修所の実施状況

名称	WB 研 BS 京都 第35期	団委員研修所 京都第10期	第1回 安全 セミナー	第2回 安全 セミナー
期間	11/23～25	11/23～25	12/2	1/20
会場	広河原野営場	京都市静原キャンプ場	京都連盟 会議室	京都連盟 会議室

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

対象者・使用者等	使用月日	使用人数	備考
野営場整備	7/14-15	42	イベント委員会
西ライオンズクラブ	8/25-26	84	レオクラブ
京都第 29 団	9/21-23	45	BS 隊
冬こもり	12/1-2	25	イベント委員会
京都第 92 団	2/3	28	CS 隊、BS 隊
京都第 68 団	2/10-11	52	BS 隊
京都第 7 団	3/10-11	35	RS 隊
合計	14 日	のべ 311 名	

(オ) 事業実績

広河原野営場建物の減価償却費 54 千円・固定資産税 3 千円が主な費用実績である。

(カ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得について

現在、広河原野営場の近隣に舎営施設土地建物を 10 百万円以内で取得すべく、所有者との協議を継続中である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 講師及び講演内容

挨拶 荒巻 禎一氏

(本会理事長、前京都府知事・前日本ボーイスカウト京都連盟連盟長)

講師 富野暉一郎氏

(地域公共人材開発推進機構専務理事・龍谷大学特任教授、元逗子市長)

講演内容 『京都の将来を担うグローバル人材の育成』

— グローカル人材と連帯型社会の再構築 —

(ウ) 開催場所

京都アスニー 4 階ホール

(エ) 開催日時

平成 25 年 2 月 24 日 (日) 10 時～11 時 40 分

(オ) 参加者

青少年育成指導者を中心に約 100 名が参加

(カ) 講演会事業費実績

事業費として、101 千円 (講師料等) を支出した。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣実施等

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業 (アウトドアチャレンジ)

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(エ) 事業費実績

事業費は、436 千円（普及宣伝費 35 千円、ホームページ運営改革費 284 千円、通信運搬費 53 千円、印刷製本費 64 千円）となった。

3. 財源の確保（賛助会費の入金状況）

賛助会費の入金内訳は以下の通りです。

金額	会員数	合計
10 千円	51 人	510 千円
20 千円	15 人	300 千円
30 千円	39 人	1,170 千円
50 千円	6 人	300 千円
合計	111 人	2,280 千円

賛助会費の受取会費合計について、平成 22 年度は 2,680 千円であったが、平成 23 年度は 2,230 千円に減少したものの、平成 24 年度は 2,280 千円（12 ヶ月換算では 2,310 千円）に増額となった。

引き続き、役員の方には、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。

以上